

令和6年第3回士別市議会定例会会議録（第1号）

令和6年8月30日（金曜日）

午前10時00分開会

午前11時01分散会

本日の会議事件

開議宣告

会議録署名議員の指名

諸般の報告

日程第 1 会期の決定について

日程第 2 行政報告について

日程第 3 報告第 12号 専決処分の報告について

日程第 4 報告第 13号 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告について

日程第 5 議案第 86号 士別市乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について

議案第 87号 士別市重度心身障がい者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について

議案第 88号 士別市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

日程第 6 議案第 89号 財産の処分について

日程第 7 議案第 90号 令和6年度士別市一般会計補正予算（第6号）

議案第 91号 令和6年度士別市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

日程第 8 議案第 92号 令和6年度士別市病院事業会計補正予算（第4号）

日程第 9 議案第 93号 士別市公平委員会委員の選任について

日程第10 議案第 94号 士別市教育委員会委員の任命について

日程第11 報告第 14号 総務産業常任委員会の所管事務調査の報告について

日程第12 報告第 15号 文教厚生常任委員会の所管事務調査の報告について

散会宣告

出席議員（14名）

副議長 1番 村上 緑一 君
3番 湊 祐介 君
5番 加納 由美子 君
7番 西川 剛 君

2番 石川 陽介 君
4番 中山 義隆 君
6番 奥山 かおり 君
8番 佐藤 正 君

9番	真保誠君	10番	喜多武彦君
11番	谷守君	12番	大西陽君
13番	十河剛志君	議長 15番	山居忠彰君

出席説明員

市長	渡辺英次君	副市長	法邑和浩君
総務部長	大橋雅民君	市民部長	丸徹也君
健康福祉部長	東川晃宏君	経済部長	坂本英樹君
建設環境部長	藪中晃宏君		

教育委員会 教育委員	泉山浩幸君	教育委員会 生涯学習部長	三上正洋君
---------------	-------	-----------------	-------

市立病院 副院長	中舘佳嗣君	経営管理部長	池田亨君
-------------	-------	--------	------

農業委員会 会長	上野浩二君	農業委員会 農事務局長	林秀忠君
-------------	-------	----------------	------

監査委員	浅利知充君	監査委員 局長	四ツ辻秀和君
------	-------	------------	--------

事務局出席者

議会事務局長	岡崎忠幸君	議会事務局 総務課長	須藤友章君
議会事務局 総務課主査	中井聖子君	議会事務局 総務課主任主事	清水健正君

(午前10時00分開会)

○議長(山居忠彰君) 令和6年第3回定例会が招集されましたところ、本日の出席議員は全員であります。

ただいまから開会いたします。

直ちに会議を開きます。

○議長(山居忠彰君) 本定例会の会議録署名議員には、11番 谷 守議員、12番 大西 陽議員、13番 十河剛志議員を指名いたします。

○議長(山居忠彰君) ここで、事務局長から諸般の報告をいたします。

○議会事務局長(岡崎忠幸君) 御報告申し上げます。

本日の議事日程及び諸報告については、配信のとおりでありますので、朗読を省略いたします。

以上で報告を終わります。

(朗読を経ないが掲載する)

1. 市長から送付された議案は次のとおりである。

報告第12号 専決処分の報告について

議案第86号 士別市乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について

議案第87号 士別市重度心身障がい者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について

議案第88号 士別市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

議案第89号 財産の処分について

議案第90号 令和6年度士別市一般会計補正予算(第6号)

議案第91号 令和6年度士別市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

議案第92号 令和6年度士別市病院事業会計補正予算(第4号)

議案第93号 士別市公平委員会委員の選任について

議案第94号 士別市教育委員会委員の任命について

2. 教育委員会から送付された報告は次のとおりである。

報告第13号 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告について

3. 常任委員会から送付された審査経過及び結果の報告は次のとおりである。

報告第14号 総務産業常任委員会の所管事務調査の報告について

報告第15号 文教厚生常任委員会の所管事務調査の報告について

4. 監査委員から送付された報告は次のとおりである。

例月現金出納検査の結果に関する報告 4月、5月、6月分

5. 意見書の処理結果は次のとおりである。

議決年月日	件 名	提出年月日	提 出 先
6. 6. 21	ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書	6. 6. 21	内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 文部科学大臣 農林水産大臣 経済産業大臣 国土交通大臣 環境大臣 復興大臣 衆議院議長 参議院議長
6. 6. 21	厳しい農業情勢を打開する改正基本法と関連法案を求める意見書	6. 6. 21	内閣総理大臣 財務大臣 農林水産大臣 衆議院議長 参議院議長
6. 6. 21	令和6年度北海道最低賃金改正等に関する意見書	6. 6. 21	北海道労働局長
6. 6. 21	地方財政の充実・強化に関する意見書	6. 6. 21	内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 厚生労働大臣 国土交通大臣 デジタル大臣 内閣府特命担当大臣 (こども政策) 衆議院議長 参議院議長

6. 議員の派遣についての報告は次のとおりである。

(1) 士別市議会「おしゃべり会」

イ. 派遣場所 士別市いきいき健康センター

ロ. 派遣期間 令和6年8月20日

ハ. 派遣議員 石川議員、奥山議員

7. 本会議に出席する者は次のとおりである。

市 長	渡 辺 英 次	副 市 長	法 邑 和 浩
総 務 部 長	大 橋 雅 民	市 民 部 長	丸 徹 也
健康福祉部長	東 川 晃 宏	経 済 部 長	坂 本 英 樹
建設環境部長	藪 中 晃 宏	市 民 部 長 朝 日 支 所 長	佐 藤 義 弘

建設環境部 都市整備統括監 兼都市環境課長	佐々木 誠	企画課長	増田 晶彦
総務課長 (併)選挙管理 委員会事務局長	水 留 啓 諭	財政課長	佐藤 寛之
くらし安全課長	青 木 伸 裕	市民課長	阿 部 淳
税 務 課 長	阿 部 也 志	朝日支所 地域生活課長	岡 崎 浩 章
朝日支所 地域生活管理監 (併)地域文化 課長	島 田 英 貴	上士別出張所長 兼上士別構造一 等改善センター 所長	興 水 賢 治
多寄出張所長 兼多寄研修 センター所長 兼多寄構造改善 センター所長	川 原 広 幸	温根別出張所長 兼温根別生活改善 センター所長 兼温根別多目的 研修集会施設所長	佐々木 憲 也
地域福祉課長	瀧 上 聡 典	こども・子育て 応援課長	武 山 鉄 也
高齢者福祉課長	青 木 秀 敏	高齢者福祉課 介護予防推進 管理監	東海林 優 子
保健福祉 センター所長 兼成人病健診 センター所長	川 原 淳 子	農業振興課長	藤 田 昌 也
農業振興課 農耕地管理監	喜 多 伸 光	畜産林務課長	市 橋 信 明
商工労働観光課長	久 光 徹	都市環境課 都市環境管理監 兼バイオマス資源 堆肥化施設施設長	村 田 雄 大
建 築 課 長	峯 垣 智 剛	施設維持センター 所長	山 下 正 明
環境センター所長	今 井 博 明	上下水道局長	土 田 実
上下水道局 上下水道管理監	中 井 康 寛	教育委員会 教育委員 会長	泉 山 浩 幸
教育委員会 生涯学習部長	三 上 正 洋	教育委員会 学校教育課長	岡 田 詔 彦
教育委員会 学校教育課 長 兼土別高等学校 事務課長	岡 田 英 俊	教育委員会 学校給食センター 所長	河 口 光 輝
教育委員会 社会教育課長	千 葉 真奈美	教育委員会 中央公民館 兼市民文化 センター館長	庄 司 伸 一

教育委員会
図書館長
兼生涯学習情報
センター所長

佐藤 祐希

教育委員会
博物館長
兼公会堂展示館長

大留 義幸

教育委員会
合宿の里・スポーツ
推進課長
兼総合体育館長
兼スポーツ
交流館長

徳 竹 貴之

教育委員会
合宿の里・スポーツ
推進課地域推進
スポーツ推進
管理監督
兼総合体育館長
兼副館長
兼スポーツ
交流館副館長

黒 沼 淳一

教育委員会
学校教育課副長

伊 藤 昌彦

教育委員会
学校給食センター
副長

丸 奈央子

教育委員会
社会教育課副長

佐藤 和佳子

教育委員会
中央公民館副長
兼市民文化
センター副長

高 橋 幸人

教育委員会
図書館副長
兼生涯学習情報
センター副長

藤 田 昌宏

教育委員会
合宿の里・スポーツ
推進課副長

上 川 学

市立病院
病院事業副管理者

中 舘 佳嗣

市立病院
経営管理部長

池 田 亨

市立病院
総務課長

半 澤 浩章

市立病院
医事課長

田 上 泰成

市立病院
総務課副長

水 村 友博

市立病院
総務課主幹

木 島 啓

農業委員会
会長

上 野 浩二

農業委員会
会長兼
職務代理者

工 藤 修一

農業委員会
農事
業務局長

林 秀忠

監査委員

浅 利 知充

監査委員
監事

四ツ辻 秀和

8. 本会議の事務に従事する者は次のとおりである。

議会事務局長

岡 崎 忠幸

議会事務局
総務課長

須 藤 友章

議会事務局
総務課主査

中 井 聖子

議会事務局
総務課主任主事

清 水 健正

以上報告する

令和6年8月30日

士別市議会議長 山居 忠彰

○議長（山居忠彰君） それでは、これより議事に入ります。

日程第1、会期の決定についてを議題に供します。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日から9月13日までの15日間と決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は本日から9月13日までの15日間と決定いたしました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第2、行政報告についてを議題に供します。

行政報告を求めます。渡辺市長。

○市長（渡辺英次君）（登壇） 令和6年第3回定例会に当たり、諸般の報告をいたします。

初めに、7月23日から24日の大雨に伴う災害状況についてです。

2日間の総雨量が士別地区で125.5ミリ、朝日地区で141.0ミリとなり、1日の降水量が7月の観測史上、士別地区で2位、朝日地区で4位を記録する大雨となりました。

全市的な農地への冠水被害に加え、朝日地区のペンケヌカナンブ川の氾濫が発生したため、7月31日に行われた立憲民主党との意見交換会の中で復旧促進の要望を行ったほか、8月1日には北海道に対しても要請したところです。

このほか、朝日天塩岳道路の一部で路肩の崩落が確認されたため、一般車両を通行止めとし、復旧工事を進めているところです。

次に、農業関係についてです。

農作物の生育状況は、6月中旬からの高温、多照、また7月には適度な降雨となり生育はおおむね順調に推移しています。

主な作物の生育状況について申し上げますと、水稻は平年並み以上の確保が期待され、秋まき小麦、春まき小麦は収量、品質とも平年並みとなっています。また、バレイショやタマネギ等についても平年並み以上の収量が確保されている状況で、てん菜については平年より早く生育が進み、根周も順調に肥大しており平年並みの収量が確保できる見通しです。

一方で、7月23日からの大雨により、水稻をはじめ大豆、バレイショ、てん菜のほか、収穫期を迎えていた小麦等を作付する28戸、約66ヘクタールの農地が冠水しました。

被害を受けた農作物においては、品質や収量への影響も懸念されますが、全体的には平年並み以上の収量確保が見込まれていますので、今後、適期収穫による品質の保持・管理に万全を期しつつ、出来秋を期待しているところです。

次に、夏のイベント関係についてです。

夏の一大イベントである岩尾内湖水まつりと士別天塩川まつりが士別天塩川源流まつり実行委員会による運営の下、盛大に開催されました。

7月27日の第46回岩尾内湖水まつりでは、水上遊覧や源流サバイバルゲームのほか、349人分のジンギスカンの無料配布やサフォークポイントが当たる抽せん会などが行われ、多くの来場者が雄大な自然の中でのイベントを満喫していました。

また、8月17日の第48回士別天塩川まつりでは、ステージイベントや飲食店などの出店のほか、第2名越丸本舟による川舟みこしがにぎわいを見せるとともに、納涼花火が夜空を彩り、市内外から来場した多くの方が夏の楽しいひとときを過ごしました。

8月25日にはラブ士別・バイ士別運動推進協議会の主催による士別市産業フェアが開催されるとともに、製糖工場の見学会を通じた砂糖の知識を深める取組や消費拡大を目的に砂糖サマーフェスタ2024が開催されました。当日は、市内団体による飲食店の出店をはじめ、農畜産物やオリジナルスイーツの販売、友好都市みよし市からの出店等に加え、さっぽろ市土別ふるさと会からも多くの会員が来場し、盛会のうちに終了しました。

次に、スポーツイベントと子供たちの活躍についてです。

7月13日の日本陸上競技連盟などとの共催によるホクレン・ディスタンスチャレンジ2024第3戦士別大会では、日本選手権のメダリストやパリオリンピック日本代表選手を含むトップアスリート232人が熱戦を繰り広げ、出場した多くの選手が自己記録を更新するなど、大いに盛り上がりました。

7月21日には第37回サフォークランド士別ハーフマラソン大会を全国各地から1,605人のエントリーの下で開催しました。大会のポスターは、士別市出身の漫画家である高橋しん先生にイラストを作成していただくとともに、本市出身の本間颯選手も招待選手として出場し、大会に花を添えていただきました。

大会の開催に当たっては、包括連携協定を締結するトヨタ自動車株式会社からの車両提供をはじめ、各団体や企業から大会ボランティアの協力をいただいたところです。このように、多くの市民や協賛企業の御理解、御協力により成功裏に大会が開催できたことに心から感謝を申し上げます。

子供たちも各種大会等で活躍しており、全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技では、士別翔雲高校から4名の選手が出場し、榎本凌也選手が96キロ級で優勝を果たしたほか、出場した全員が入賞し、団体でも6位の成績を収めました。

士別翔雲高校野球部は、昨年に引き続き、全国高等学校野球選手権北海道大会に出場し、準々決勝まで勝ち進みました。また、新聞局においても全国総合文化祭に出場を果たすなど、スポーツ、文化において活躍をしています。

中学生では、第75回北海道中学校軟式野球大会で、本市から出場した2チームが決勝まで勝ち上がり、士別南中学校野球部が優勝、朝日・上士別・士別中学校野球部が準優勝となる快挙を成し遂げました。

両チームは福井県で行われた全国大会へ出場し、朝日・上士別・士別中学校野球部は残念ながら1回戦で敗退しましたが、士別南中学校野球部は2勝し、全国ベスト8というすばらしい成績を収めました。

次に、友好都市みよし市との交流についてです。

7月23日から26日までの日程で、小学生と引率者、合わせて39名が来市し、市内小学生との交流や地域文化を体験していただくなど、さらに絆を深めました。

また、8月2日からは、引率を含め、野球少年団26名とサッカー少年団20名が来市しました。滞在中は天候にも恵まれ、市内の子供たちと交流を深めるとともに、サフォークランド士別カ

ップジュニアサッカー大会にも出場し、熱戦を繰り広げました。

8月6日から8日にかけて、みよし市議会議員訪問団10名が来市され、教育環境やふるさと納税などに関する行政視察が行われたところです。

さらに産業フェアでは、村田副市長をはじめ8名の方に特産品である梨やブドウなどを販売していただき、好評を博しました。

次に、国際交流についてです。

7月10日から17日まで、ゴールバーン・マルワリー市の高校生5名と引率2名が短期留学研修で5年ぶりに本市を訪れました。

滞在中は、市内でホームステイを行いながら、士別翔雲高校での授業や旭川スタルヒン球場で開催された高校野球北海道大会の全校応援など、地元高校生と数多くの交流を行ったほか、士別神社例大祭にも参加し、おみこし担ぎや餅まきなどの日本文化を体験しました。

また、7月25日から28日にかけて、サッカーを通じた国際交流を図るため、ベトナムから24名の子供を含む総勢38名が来市し、市内事業所や株式会社イシヤの協賛の下、第5回アジア交流ジュニアサッカー士別大会が開催されました。

さらに、8月17日から18日にかけて、北海道国際交流・協力総合センターによる留学生ふれあい交流が本市で行われ、道内の大学に通う21か国、27名の留学生が天塩川まつりの鬼ごっこや川舟みこしに参加しました。

次に、企業との連携についてです。

7月6日には、道の駅において包括連携協定を締結しているレバンガ北海道との連携イベントを士別レバンガの会の協力の下、開催しました。当日は島谷怜選手のほかマスコットキャラクターのレバードも来場し、フリースロー対決やミニ抽せん会などで市内外の多くの方と交流が図られました。

8月21日から22日にかけて、ダイハツ工業株式会社との包括連携協定の下、市内全ての小学校を対象にものづくり体験教室が実施されました。本事業は、小学5年生が社会科で学ぶ自動車産業のうち、製造ラインを体験できるものであり、児童はもとより先生からも好評を得たところです。

ヤマハ発動機株式会社には、今年も産業フェアにおいて、本市での試験研究を基に誕生した四輪バギーの展示や塗り絵教室を開催していただきました。

次に、原油価格高騰対策家庭応援事業についてです。

本年第1回定例会で可決された本事業について、8月22日時点の進捗を申し上げます。

6月3日から市内の8,878世帯に対し家庭応援券の発送を開始しました。その後、未達となった世帯に対しては、はがきによる勧奨を行い、約99%の世帯が受領したところです。

利用状況については、これまでに市内の106店舗で約4,200万円、47%の応援券が使用されています。

次に、市立病院の経営状況についてです。

7月までの患者動向について、入院においては4月から3病棟体制を再開したこともあり、1日平均患者数が108人と前年同期との比較で19.7%の増、及び入院収益が7,380万円の増となりました。

一方、外来患者数においては1日平均患者数が361人と、前年同期との比較で0.9%の減、及び外来収益が90万円の減と前年度と同様の水準で推移しています。

今年度は、これまでの経営改革プランを改訂した患者さん中心の医療を基本理念とする経営強化プランの初年度として、その着実な実践と推進のため、地域包括ケア病床の拡充による在宅復帰機能の強化や、診療支援システムの充実による質の向上、適切なベッド運用と効果的な診療報酬請求による経営改善への取組を進めているところです。

今後も、上川北部地域のセンター病院である名寄市立総合病院及び地域医療連携推進法人との協調の深化と、持続可能な経営基盤の構築を進め、地域包括ケアシステムの中心的役割を果たすべく病院経営に取り組んでまいります。

次に、男女共同参画についてです。

6月23日から29日までの男女共同参画週間に併せて図書展やパネル展を開催し、男女平等のさらなる意識啓発を図りました。

また、今回は、だれもがどれも学べる社会にをキャッチコピーに、LGBTQなどの性の多様性に関する展示も行うことで、市民への周知と理解に努めました。

最後に、公共工事の執行状況について申し上げます。

本年度における建設工事等の発注については、3月に発注済みのゼロ市債事業を含め、130件、約12億2,814万円を予定したところです。

この8月23日までに、小学校空調設備設置工事その1、その2、スポーツ合宿センター浴室改修工事など、予定件数の約71.5%、93件の発注を終えたところであり、発注総額は約9億54万円となりました。なお、平均落札率は96.28%となっています。

今後、あさひサンライズホール自動火災報知設備更新工事、川西地区河川工事などの発注を予定しており、引き続き、市内の経済情勢を考慮し、適切な発注に努めてまいります。

以上申し上げ、諸般の行政報告といたします。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 以上で行政報告を終わります。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第3、報告第12号 専決処分の報告についてを議題に供します。
提案者の説明を求めます。法邑副市長。

○副市長（法邑和浩君）（登壇） ただいま議題となりました報告第12号 令和6年度士別市一般会計補正予算（第5号）の専決処分について、その内容を御説明申し上げます。

本補正は、第75回北海道中学校軟式野球大会において優勝した士別南中学校と準優勝の朝日・上士別・士別中合同の両野球部が8月19日から福井県で開催された全国大会に出場しましたが、旅行代金等の支払期日までいとまがなく、中学校生徒対外行事参加奨励費として補助金

を早急に交付する必要があったことから、240万円を追加計上し、地方自治法第179条第1項の規定に基づき、8月7日付で専決処分した次第です。

なお、これに要する財源については、財政調整基金の一般財源をもって収支の均衡を図った次第です。

よろしく御承認のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第12号は、原案のとおり承認と決定いたしました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第4、報告第13号 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告についてを議題に供します。

教育委員会の説明を求めます。泉山教育長。

○教育長（泉山浩幸君）（登壇） ただいま議題となりました報告第13号 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告について御説明申し上げます。

本報告は、効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たすため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、所管による自己点検と評価を基に、学識経験や外部の視点として、校長会、社会教育委員の会議、スポーツ協会、文化協会及びPTA連合会の5団体から選出された教育行政評価委員によって、客観的かつ幅広い視点からの御意見をいただいた結果をまとめ、議会に提出するとともに広く公表するものであります。

点検・評価の対象は、令和5年度における士別市教育推進の重点に盛り込んだ推進施策と主要事業から成る23事務事業であり、このうち複数の部署が所管しているものもあるため、調書の総数は26となっております。

評価に当たっては、個別の主要事業の目的や目標、内容に対して期待する成果が得られたか、また、その事業の必要性はどの程度あるのか、あるいは事務事業が円滑に遂行できたか、工夫や改善、充実を図ることができたかなどの観点から自己評価し、その結果をアルファベットのAからEまでの5段階で示しており、最終的に16事業がA評価となり、残る10事業がB評価となりました。

これらの結果に基づき、今後の施策、事業の推進に当たっては、さらなる効率性や工夫、改善などの検討を加えながら、よりよい教育行政の実現に努めてまいります。

以上、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、御報告申し上げ

げました。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御発言がなければ、以上で報告を終わることに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、報告第13号は、報告を終わることにいたします。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第5、議案第86号 士別市乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について、議案第87号 士別市重度心身障がい者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について及び議案第88号 士別市国民健康保険条例の一部を改正する条例について、以上3案件を一括議題に供します。

提案者の説明を求めます。丸市民部長。

○市民部長（丸 徹也君）（登壇） ただいま議題となりました議案第86号 士別市乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例についてから議案第88号 士別市国民健康保険条例の一部を改正する条例についてまで、関連がありますので一括してその概要を御説明申し上げます。

本改正は、現行の被保険者証を廃止し、マイナンバーカードと被保険者証が一体化されることを含んだ行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行に伴い、必要な文言整理を行うとともに、そのほか所要の改正を行うものです。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第86号から議案第88号までの3案件は、原案のとおり可決されました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第6、議案第89号 財産の処分についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。法邑副市長。

○副市長（法邑和浩君）（登壇） ただいま議題となりました議案第89号 財産の処分について、

その概要を御説明申し上げます。

今回処分する財産は、駅南工業団地内にある地積6,860.83平方メートルの宅地で、ヤンマーアグリジャパン株式会社から、5月1日付で普通財産買受申請があり、8月7日付で処分価格2,058万3,000円をもって売買の仮契約を締結したところです。

この財産を処分するに当たり、地方自治法第96条第1項第8号及び士別市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条に基づき、議会の議決を求める次第です。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第89号は、原案のとおり可決されました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第7、議案第90号 令和6年度士別市一般会計補正予算（第6号）及び議案第91号 令和6年度士別市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について、以上2案件を一括議題に供します。

提案者の説明を求めます。法邑副市長。

○副市長（法邑和浩君）（登壇） ただいま議題となりました議案第90号 令和6年度士別市一般会計補正予算（第6号）及び議案第91号 令和6年度士別市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について、関連がありますので、一括してその概要を御説明申し上げます。

本補正は、令和6年7月23日から24日にかけて発生した大雨災害に関連する災害復旧費や補正予算での対応としていた除雪対策事業費など、当面の措置を要するものについて所要の補正を行うもので、以下、その主な内容を御説明申し上げます。

初めに、総務費です。

賦課徴収一般行政経費では、過年度分の税額更正や中間納付に対する市税還付金について、当初予算に不足が生じる見込みであることから180万円を追加計上しました。

次に、民生費です。

老人福祉一般行政経費では、5年度低所得者保険料軽減国庫負担金の精算に伴う返還金として33万5,000円を計上しました。

介護保険事業特別会計繰出金では、5年度低所得者保険料軽減道費負担金の精算に伴う追加交付分の繰出金として2万4,000円を計上しました。

児童手当支給事業費では、本年10月からの制度の拡充に伴い、高校生年代までの支給期間延

長や所得制限の撤廃などによる支給額の増加に対応するため、事務費と合わせて4,179万7,000円を追加計上しました。

未熟児養育医療給付事業費では、給付対象者が当初の想定を上回る見込みとなったことから130万円を追加計上しました。

生活保護安定運営対策事業費では、生活保護制度の改正に伴い、就労自立給付金のインセンティブ強化及び被保護者世帯の高卒就職者の新生活立ち上げ費用の支給に対応するため、生活保護システム改修委託料173万4,000円を計上しました。

次に、農林水産業費についてです。

持続的畑作生産体制確立緊急支援事業費では、北海道から補助金の内示があったことから、国産需要の高い作物の生産拡大等支援事業として、北ひびき農業協同組合ほか市内の9農業者に対する補助金831万9,000円を計上しました。

麦・大豆生産技術向上事業費についても補助金の内示があり、麦・大豆の生産基盤強化と安定供給の構築を目的に、新たな営農技術等を導入する農業振興団体の士別市農業再生協議会に対する補助金1,269万8,000円を計上しました。

また、農地利用効率化等支援交付金事業費でも同様に、補助金の内示に伴い、市内1農業者が実施する農業機械整備等に対する補助金として207万1,000円を計上しました。

バイオマス資源堆肥化施設整備事業費では、施設で稼働するトラクタの減速機が経年劣化で故障したことから、その修繕費として83万円を計上しました。

次に、土木費です。

当初予算での計上を見送っていた除雪対策事業費について、士別地区で4億9,964万9,000円、朝日地区で7,598万円、合わせて5億7,562万9,000円を計上しました。

次に、教育費です。

博物館・公会堂展示館整備事業費では、博物館の暖房用温水ポンプが経年劣化により故障したことから、設備更新に要する経費297万円を計上しました。

次に、災害復旧費です。

道路橋梁施設災害復旧事業費では、東丘10号通り外7か所の復旧工事費として、333万円を計上し、同じく、朝日分では朝日愛別道路外12か所の復旧工事費として407万3,000円を計上しました。

河川災害復旧事業費では、豊栄川外11か所の復旧工事費として543万1,000円を計上しました。

次に、予備費です。

今回の大雨による災害に伴って、当初予算に計上した1,000万円のうち、応急経費として既に906万2,000円を充用していることから、今後における災害などの発生に備え、万一の際に迅速な予算の執行ができるよう、1,000万円を追加計上しました。なお、これらに要する財源については、国・道支出金などの特定財源のほか、財政調整基金などの一般財源をもって収支の均衡を図った次第です。

次に、債務負担行為の補正についてです。

地域公共交通総合対策事業における中多寄線など4路線の市町村生活バス路線、川西・南沢線及び武徳線の予約制乗合バスについて、運行委託のための措置を行うものです。

また、令和7年度の戸籍システム機器更新に向けて、今年度中に契約が必要なことから、北海道備荒資金組合の防災資機材譲渡事業を活用し、更新するための措置を行うものです。

次に、地方債の補正については、歳出予算との関連から借入限度額の追加が必要となる事業及び臨時財政対策債の額の確定に伴い、所要の措置を講ずるものです。

次に、介護保険事業特別会計についてです。

第一号被保険者還付金では、年金から特別徴収を行った介護保険料の還付未済金として26万円を追加計上しました。償還金では、超過交付となった介護給付費に関する国・道への返還金2,080万5,000円及び5年度低所得者保険料軽減負担金の確定に伴う一般会計の償還金33万4,000円、合わせて2,113万9,000円を追加計上しました。なお、これらに要する財源については、道支出金や支払準備基金繰入金などの特定財源のほか、一般会計繰入金をもって収支の均衡を図った次第です。

以上、今回の補正の概要について御説明申し上げます。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第90号及び議案第91号の2案件は、原案のとおり可決されました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第8、議案第92号 令和6年度士別市病院事業会計補正予算（第4号）を議題に供します。

提案者の説明を求めます。中館病院事業副管理者。

○病院事業副管理者（中館佳嗣君）（登壇） ただいま議題となりました議案第92号 令和6年度士別市病院事業会計補正予算（第4号）について、その概要を御説明申し上げます。

本補正は、新たに策定した経営強化プランに基づき、本年4月から3病棟129床での病棟運営を再開し、入院患者数も増加してきている状況の中で、看護師の予期せぬ退職や休職などが重なったため、診療報酬の施設基準を満たす入院看護体制の確保を図ろうとするものです。

これまで、処遇改善や働き方の見直しのほか、ハローワーク、民間紹介業者や養成機関への募集活動など人員確保の取組を続けてきましたが、現段階ではさらなる人員確保が必要な状況

であることから、当面の措置として、産休や育児休暇の代替看護師に認められる派遣契約を締結することとし、その委託料として、収益的支出において1,108万8,000円を追加計上するものです。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。西川 剛議員。

○7番（西川 剛君） ただいま提案のあった補正予算についてお聞きをいたします。

看護師の派遣業務委託事業ということで提案がありました。派遣による看護職員の確保というのは初めてかと思うのですけれども、現状、先ほど産休、育休の代替職員ということでお話がありましたが、改めまして現在の市立病院における看護職員の確保、充足状況、先ほど施設の配置基準等にも触れられておりましたので、この辺の部分の現状の課題について改めてお聞きをしたいと思います。

○議長（山居忠彰君） 池田経営管理部長。

○経営管理部長（池田 亨君） 派遣看護師の確保の状況、経過になりますけれども、4月から3病棟体制に復活させております。1年4か月に及びまして2病棟体制から3つに分けたということで1病棟当たりの看護要員というのがぎりぎりになってしまったと。併せて、産休、育休が今3人おりますということで、それは織り込み済みだったのですけれども、そういった状況にございます。

例えば、昨年8月1日から今年度の8月1日にかけて病棟に勤務する看護師、看護要員に関しては、58人から53人に5人減った状態で運営しております。そういった中で、当初予定していませんでした退職が2人出たこと、それから病気休暇が1人出たこと、これによって、特にフルタイムの職員だったものですから、夜勤もできると、看護師の中でやはり一定程度夜勤もできる人間というのは限られますので、そういった意味で夜勤をできる人間が足りなくなったということは非常に痛手だったわけでございます。

それで今回、派遣によりまして、病気休暇1名についてはいずれ復帰するものですから、そこは置いておいて、予期せぬ退職、この2名について今回派遣によって支援を仰ごうと、そういった形で取り組んでいます。

以上です。

○議長（山居忠彰君） 西川議員。

○7番（西川 剛君） 補正ですので、緊急を要するということで承知をいたしました。

そこで今、予期せぬ退職者2人ということなのですが、この1,108万8,000円の積算の考え方について改めてお聞きをいたします。

○議長（山居忠彰君） 池田部長。

○経営管理部長（池田 亨君） 今回、参考見積りということでいただいた業者の1者なのですが、そこでの提案としては、日勤が4,000円、そして夜勤については5,000円と、そういっ

た時給の金額で計算しています。

日勤に関しては10日間、夜勤に関しては5日間という形で積算しまして、それで2名で72万円の月額になります。それで7か月で消費税も合わせてこの1,100万円という規模になっております。

以上です。

○議長（山居忠彰君） 西川議員。

○7番（西川 剛君） 派遣なものですから即戦力ということで、ただ、少しやはり金額を聞きますと、時給単価、2人7か月の確保でいくとかなり高くなっているということで、現在ホームページ、来年度の定期採用についても募集があったりとか、ホームページではずっと4月26日から急募という形で随時募集をされているようでありますけれども、どうしてもこういった急な対応の部分については経費がかさんでしまいますので、この先しっかりと安定に向けた看護職員の採用について、改めて現状の考え方についてお聞きをしたいと思います。

○議長（山居忠彰君） 中館副管理者。

○病院事業副管理者（中館佳嗣君） 今回の派遣看護師については、御指摘があったように、施設基準を満たさないようなことになってしまいますと、それこそ診療報酬、収入に大きな影響を与えますので、それは避けなければならないというのがまずあります。

現状でもその基準を満たしていないということではないのですが、やはり夏休みを含めて休暇を取りにくいとか、結果的にそういう働き方になってくると、今勤めている看護師の負担が多くて、それこそそれがまた退職に結びつくようなことを避けなければならないということで今回御提案申し上げているところです。

御指摘のとおり、今後、いわゆる直接雇用で常勤の看護師確保に向けては様々な取組を今後も続けていかなければならないと思っておりますが、まずは看護体制の見直しということであると、病棟はそういう基準がしっかり決まっているので、もうこれを満たしていくということは当然なのですが、例えば外来の診療体制については、やはり患者動向なんかを見ながら、例えば、もう少し診察ブースを統合できないかと。例えばそうすると今、午前中はすごく患者さんが多いですが、午後は少し少ないということでいくと、医師の負担はちょっと増えますけれども、そういう意味では看護師の業務の分散化にもつながると。

一方で、その業務を今やっている診療事務の補助者、ドクタークラークなんかもさらに養成することによって、例えば検査とか次回の予約ですとか、今、医師が関わっている部分を、そういったタスクシェアをすることによって、結果的にその負担を減らしながら、目指すべきは必ずしも人数を増やさなくても、工夫と運用上の見直しによってしっかりとした体制が組めないかと、まずこういった視点で検討していきたいと思っています。

今、タスクシェア、業務を多職種で分かち合うということはワーキンググループをつくって取り組んでおりますので、看護師のそういった業務の負担軽減、これも引き続き行っていくと思っていますし、医療DXという観点でいうと、ナースコールやなんかも今スマホで画像

も見られるということでいくと、移動もそういったことを代替することによって業務負担を減らせるのではないかと、こういうことも併せて考えていきたいと思っております。

やはり、特に夜勤ができる看護師さんの確保というのが一番課題になっていまして、特に夜勤ができる時間、平均でいうと72時間を月で超えられないとか、そういった要件をしっかりと満たしていかなければならないということでいうと、人数もそうなのですけれども、しっかりと夜勤のシフトが組めるような、そういう体制を組んでいかなければならないということで、今もう既に取り組んでいますけれども、例えば夜勤専従という働き方も選べると。そういった場合については、そこに対する評価、手当は充実させようとか、今、回復期の病床を拡充しましたので、緊急入院なんかもしっかり受けていかなければならないと。やはり人数が少ない中で看護師も大変なんですね。そういう部分についてはしっかりと評価しようという形で、そういう部分を担っていただく、そういう人たちに対する評価もしっかりしていこうということで、そういう働き方を我々としても応援するという考え方で進めていきたいと思います。

もう1点だけ、処遇改善について、4月からベースアップ評価料ということで、これも診療報酬の中で、政府が求めているベースアップ、今年2.5%、さらにその翌年は2%ということで、そういう賃金の底上げをすることによって、しっかりと人員確保していこうと。我々もそれはしっかりと取り組んでいくつもりですので、そういったことで今、様々な方策を組み合わせながら取り組んでまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（山居忠彰君） ほかに御発言ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第92号は、原案のとおり可決されました。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第9、議案第93号 士別市公平委員会委員の選任についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。渡辺市長。

○市長（渡辺英次君）（登壇） ただいま議題となりました議案第93号 士別市公平委員会委員の選任について御説明申し上げます。

本年10月13日をもって任期満了となる宮島 貢委員について、再度委員に選任いたしたく、地方公務員法第9条の2第2項の規定により議会の同意を求める次第です。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(山居忠彰君) それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案に同意することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(山居忠彰君) 御異議なしと認めます。

よって、議案第93号は、原案同意と決定いたしました。

○議長(山居忠彰君) 次に、日程第10、議案第94号 士別市教育委員会委員の任命についてを議題に供します。

提案者の説明を求めます。渡辺市長。

○市長(渡辺英次君)(登壇) ただいま議題となりました議案第94号 士別市教育委員会委員の任命について御説明申し上げます。

本年10月28日をもって任期満了となる加藤洋之委員について、再度委員に選任いたしたく、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により議会の同意を求める次第です。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。(降壇)

○議長(山居忠彰君) 質疑に入ります。

御発言ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(山居忠彰君) それでは、これより採決に入ります。

本案については、原案に同意することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(山居忠彰君) 御異議なしと認めます。

よって、議案第94号は、原案同意と決定いたしました。

○議長(山居忠彰君) 次に、日程第11、報告第14号 総務産業常任委員会の所管事務調査の報告についてを議題に供します。

総務産業常任委員長の報告を求めます。真保 誠委員長。

○総務産業常任委員長(真保 誠君)(登壇) 報告第14号 総務産業常任委員会の所管事務調査について、概要を報告いたします。

令和6年8月2日に、流雪溝の未投雪箇所、都市計画街路の未着工路線、コンパクトシティ、空き家・空き地バンクにおけるそれぞれの現状や計画、今後についての4件について調査を実施いたしました。

初めに、流雪溝の未投雪箇所の現状と今後の経営についてです。

流雪溝及び投雪口はいずれも供用開始から30年近く経過しており、利用戸数の減少並びに未投雪区間が増加している状況にあります。空き地、空き家店舗の増加による流雪溝沿線の空洞化が要因として考えられています。今後の対策、運営の方針として、継続した運用における費用対効果を鑑みながら、近隣の市町村とも情報共有を図り、問題解消に努めたいとの説明がありました。委員からは、供用の継続についてより一歩踏み込んだ議論が必要ではないか等の質疑が寄せられました。

第2に、都市計画街路の未着工路線と今後の計画についてです。

都市計画道路とは何かから、近年の道路整備の実績と計画の現状について、さらに今後は慎重に検討を重ねながら整備を実施していくとの説明がありました。

第3に、コンパクトシティの計画と現状についてです。

もともとの人口密度を高めて、都市機能を集約するというコンパクトシティの理念が昨今ではコンパクト・プラス・ネットワークという考え方に変わってきており、それに伴う利便性の向上や行政コストの削減について、その具体的な取組として、士別市立地適正化計画等各種計画の策定や目標、具体的な取組について説明がありました。委員からは、機能集約としての考え方のほか、市民目線の需要に応じたまちづくりをしてはどうか、また、様々なまちづくりに関する計画が重なることから、複雑ではないかとの意見がありました。

第4に、空き家・空き地バンクの現状と今後の計画についてです。

平成27年に空き家・空き地バンクを設立し、業務登録件数、契約件数については毎年一定程度の成約数を確保しているとの説明がありました。委員からは、情報提供の形態見直しや、登録情報において現実と情報が乖離していることもあることから、一定期間経過後に情報を更新してはどうか等の意見がありました。

どの事業も市民の生活の利便性や未来に関係のある事業ですので、今後も注視していく必要があるものと考えております。

以上で、総務産業常任委員会の所管事務調査の報告といたします。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 以上で、総務産業常任委員会の所管事務調査の報告を終わることにいたします。

○議長（山居忠彰君） 次に、日程第12、報告第15号 文教厚生常任委員会の所管事務調査の報告についてを議題に供します。

文教厚生常任委員長の報告を求めます。佐藤 正委員長。

○文教厚生常任委員長（佐藤 正君）（登壇） 報告第15号 文教厚生常任委員会の所管事務調査について、その概要を報告いたします。

令和6年7月18日に、学校におけるICT機器の活用・更新について調査を実施いたしました。

調査は士別南小学校で行い、実際に5年生のICT端末機器を使用した授業を参観した後、

説明員より、GIGAスクール構想の成果と現状及び課題について説明をいただくことで、子供たちがICT機器を使いこなし、1人1台端末による学びの個別最適化が進んでいることを感じることができました。また、端末は更新が必要な時期となっており、令和7年度に1,000台を更新する予定であるとの説明がありました。

委員の質疑においては、現在、士別市内にICT支援員、GIGAスクールサポーターがないことから、支援員になるためのスキル及び活動の内容などについて質疑がなされたところです。

今後、次代を担う子供たちの学習環境がますます充実していくことを望むものであります。

以上、文教厚生常任委員会の所管事務調査の報告といたします。（降壇）

○議長（山居忠彰君） 以上で、文教厚生常任委員会の所管事務調査の報告を終わることにいたします。

○議長（山居忠彰君） 以上で、本日の日程は終了いたしました。

お諮りいたします。

議事の都合により、明31日から9月9日までの10日間は休会といたしたいと思います。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（山居忠彰君） 御異議なしと認めます。

よって、明31日から9月9日までの10日間は休会と決定いたしました。

なお、9月10日は午前10時から会議を開きますので、御参集願います。

本日はこれをもって、散会いたします。

御苦労さまでした。

（午前11時01分散会）